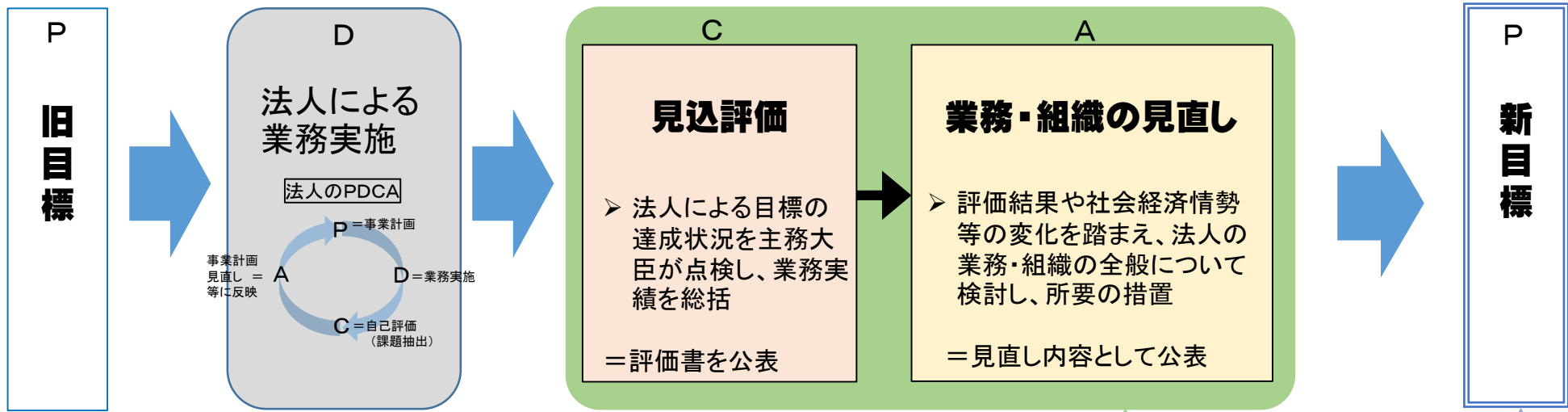


【主務大臣】 ◆主務大臣の責任の下、法人のミッションを明確にし、政策実施機能を最大限発揮させるためのPDCAサイクルを回す【新制度の眼目】



【独立行政法人評価制度委員会】

◆主務大臣によるPDCAサイクルが的確に機能しているかを点検

1. 見込評価の点検の視点 (例)

- ① 評定の根拠・理由、改善策が明確に示されているか。
- ② (今後の)目標、評価指標の設定に工夫の余地はないか。

2. 業務・組織の見直しの点検の視点 (例)

- ③ 評価結果や社会経済情勢等の変化との関係が明確に示され、的確に反映したものとなっているか。

3. 新目標の点検の視点 (例)

- ④ 国の政策実現のため、法人に付与するミッションや求める成果(どのような成果が評価されるのか)について、具体的かつ明確に示すものとなっているか。
- ⑤ 法人の長のリーダーシップの下、法人職員に法人のミッション等を浸透させ、法人のチャレンジを促すような取組を高く評価できるような目標・評価指標設定となっているか。【主務大臣はDを直接担わないため、特に重要。】

12月4日の委員会

必要があれば意見等

◆次期目標策定に当たって留意すべき事項

※ ①については、必要があるものは確定評価(期間実績評価)において対応を求める。

諮問・答申

2月下旬の委員会

【委員会の取組】

- 法人運営の活性化に資する取組事例把握
- 法人が元気を出して業務を行うよう、制度やルールの課題の検討